

## 西田俊則さんの思い出

吉田 尚



こんなエピソードご記憶にとどめていただければ嬉しいです。

東京サレジオ学園はJRの武蔵小金井駅から歩いて30分です。緑の多い閑静な住宅街を抜けると斬新なデザインの教会の塔が見えてきます。

ここは児童養護施設で、家庭環境に問題があり家族で暮らすことが出来ない子供たちが100名暮しています。名前のおとりカトリックのサレジオ修道会が運営しています。

ここがスタートしたのは昭和21年4月陸軍成増飛行場の兵舎を利用して開設されました。戦争が終わって8か月後です。東京は焼け野原。焼け出された人や戦争孤児があふれていました。これ凄いことではありませんか 8カ月前は敵として戦っていたわけですから、当時の写真をみると教会の人達やアメリカの兵士が建設に奔走していました。日本の子供たちのために・・・です。

皆さんは建築の西田俊則さんを覚えていますか。私は横浜支店で彼と一緒に仕事をしました。

煙草が好き、酒が好き、なにより仕事が好きでした。気が短いので何度も大喧嘩。それでも随分仕事で助けてもらいました。ただ感謝です！

日本国土開発がサレジオ学園の仕事を請け負う事になり御付き合いが始まりました。西田さんも現場の責任者としていくつかの現場を担当しました 中々苦勞されたようです・・・という事でこの話はおわりません。

サレジオ学園の聖堂（十字架の架けられた正面壁の裏）に小部屋があります。そう言われても・・・知らない人にはわかりません。階段を数段降りて壁を眺めると小さな額縁にはいった写真が飾られています。歴代のサレジオ学園の園長や園で亡くなられた子供たちの写真があります。そのなかに西田さんの写真もあります。

彼はここの現場を担当しましたが・・・その後もサレジオ学園の子供たちの面倒を見ていました。卒園しても仕事の無い子供たちに手を差し伸べていました。

私はまったく知りませんでした。彼もそんなことを言う人ではありませんでした。この話を聞いたのは彼が亡くなってからです。

サレジオ学園からすれば西田さんは恩人だそうです。建物を建てただけではなく「恵まれない子供たちの支え」になったからです。すでに会社を卒業して時が流れました。最近思うのです。このような話はどうしても語っておきたいのです。このような人が居たことをこころのどこかにとどめていただければ幸いです。

11月29日今年も感謝の集いが東京サレジオ学園で開催されました。西田さんは1997年。平成9年11月28日。51歳で亡くなりました。もう18年です。

